

徳田貴子ピアノリサイタル

グラジナ・バツェヴィチの系譜

グラジナ・バツェヴィチは、第二次世界大戦後ソ連の統制下にあったポーランドにおいて傑作を発表し続け、「ポーランド音楽におけるファーストレディ」と称される音楽家である。ところで、そのバツェヴィチ自らが世に出すことを禁じたため、これまで「幻」とされてきた作品がある。ピアノ・ソナタ第一番である。一昨年、「幻」のソナタ第一番がついに出版された。今回、バツェヴィチの御令孫の御了承を得たうえで、彼女の代表作とされるピアノ・ソナタ第二番と共に、第一番を日本初演する。社会的に縛られた形式の中でほのかに見出される彼女の独創性を掬い上げてみたい。

Grazyna Bacewicz x Takako Tokuda



ピアノ

徳田 貴子

Takako Tokuda

北海道恵庭市出身。札幌コンセルヴァトワールにて研鑽を積む。北海道北広島高校卒業後渡米、シンシナティ音楽院、フロリダアトランティック大学大学院を経て、マイアミ大学大学院フロスト音楽学校音楽博士課程修了。博士課程ではグラジナ・バツェヴィチの作品について、ケヴィン・ケナー氏監修のもと博士論文を執筆し、ピアノソナタ第1番を含めたCD録音を行う。これまでにOdysseyad国際コンクールで優勝、全米多数のコンサートシリーズに出演。札幌市新人音楽会にて札幌市民芸術祭大賞、道銀芸術文化奨励賞を受賞。キタラアーティストサポートプログラムによるデュオリサイタル、札幌市役所ロビーコンサートなどに出演。2022年札幌交響楽団とラフマニノフ作曲ピアノ協奏曲第2番を共演。札幌コンセルヴァトワール専任講師、札幌大谷短期大学非常勤講師などを経て、長野県長野市にてピアノ教室を主宰、ヒオキ楽器講師。北海道ポーランド文化協会、日本アレンスキー協会、NPO法人北海道国際音楽交流協会（ハイメス）アーティスト会員、全日本ピアノ指導者協会（PTNA）指導会員。

徳田貴子 公式ホームページ

URL <https://www.takatokuda.com/>